

平成 23 年度 岡山市環境政策審議会概要

1 日時 平成 23 年 12 月 22 日（木曜日）午後 2 時から午後 4 時まで

2 場所 岡山市役所本庁舎 9 階会議室

3 出席者

委員： 別掲委員名簿参照（1 名欠席）

岡山市： 環境局長、環境局統括審議監ほか関係職員

事務局： 環境企画総務課

4 傍聴者数 2 名

5 主な意見

岡山市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（原案）についての説明を行い、質疑応答が行われた。主な内容は以下のとおり（●は委員、○は当局を示す。）

●市民による検討の機会はあるか。

○パブリックコメントを行う。

●家庭ごみ有料化の手数料の用途は掲載されているのか。

○掲載されている。

●不法投棄に関する生産者責任についてはどのように考えているのか。

○拡大生産者責任については国に要望していきたい。

●岡山市のごみ処理施設は災害に対して強いのか。

○耐震性については岡南環境センター以外は新耐震基準に適合しており、岡南環境センターについては耐震性を調査したい。

●人口予測はどのような方法でおこなっているのか。

○合併前の旧市町 5 地区に分けて検討している。

●ごみ減量目標の根拠は何か。

○家庭系可燃ごみの紙類回収率 50% の達成及び生ごみ 10% 減量並びに事業系可燃ごみ 10% 減量である。

●西部リサイクルプラザにもリユースぷらざを作るのか。

○作る。

●容器包装プラスチックについては、サーマルリサイクルがよいの

か。

- コスト・施設等の観点から、本市では当面サーマルリサイクルが合理的であると判断している。
- 家庭への啓発をしっかりとってほしい。
- 啓発をしっかりと行うとともに、排出機会を拡大していきたい。
- 目標未達の場合の影響を明確に示し、市民にごみ減量のインセンティブを与える書き方をすべきである。
- 対応したい。
- 啓発・誘導・規制の三位一体でしっかりとってほしい。